

令和6年度 事業報告書 左京東部いきいき市民活動センター

【指定管理者：特定非営利活動法人劇研】

1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 7 名（常勤 2 名、非常勤 6 名）

【人材育成の取組】

- ・ 2024 年 12 月 24 日に研修会を実施
- ・ 事業に関わる職員については、別途個別に研修を実施

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
390	342	347	358	355	404	419	398	358	324	379	436

(年間)

4510 件（前年度比 92%）

イ 利用状況

○ 前年度の減少（22%減）よりは減少幅は減ったものの、8%程度減少した。新規登録団体数は 158 増えたものの、利用団体数が昨年度と比べて 7 団体減少していること。利用頻度が高かったいくつかの団体の申請件数（利用時間数）が大きく減ったこと。*2023 年度の利用頻度が高かった 2 団体（個人）だけで 111 件の減少が影響していると考えられる。

- 宣伝効果の影響もあり、新規の登録団体は増加した。

ウ 利用促進に向けた取組

- SNS（主に x）を活用し、認知を高めた。
- 提案事業と連動して来館者数を増やす努力をしたことで、新規の来館者が増えた。
- 昨年度作成したセンター利用を促すチラシを事業の際に配布した。

エ その他

- サロンの自由利用者数は大体昨年と同じ水準で推移した（前年比 93%/7%減）昨年の 32%減に比べ持ち直しているが、コロナの影響がなくなり来館者が安定したためと考えられる。ただし月平均で 5 人程度ということで定期的な利用はほとんどない状態が続いている。占有件数は前年比 191%とほぼ倍増した。葬儀や法事はほとんど利用がなく、地域活動が安定的に行われるようになったためと考えられる。

(3) 情報発信等

ア 取組実績

- 昨年に引き続き SNS（主に X）の発信頻度を高めることに努めた。フォロワー数も 42 増加したが、その数字以上に情報発信に対する反応が活発になっている。（参考：総フォロワー数 547）。
- 昨年から引き続き、事業と連動して情報発信につなげる試みを継続した。社会活動に取り組む方にインタビューし web でその動画を配信した。

イ 取組の効果

- 取材させていただいた社会福祉協議会関係で反響があり、団体内外の多くの方に冊子やインタビュー動画を見ていただけたことで、活動の理解につながり団体の活発化に貢献できた。

(4) 管理運営

- 消防設備・建物の点検を実施するとともに、不備箇所について修繕を行った。日常的に清掃を行い、年数回大掃除。植栽の手入れ備品等の保守点検、修繕等を実施した。

(5) その他

- 一昨年度、昨年度に引き続き、サロンの活用事業などで学区社協および隣接する錦林保育園と連携し事業を実施した。今年度も大谷大学社会学部と共同で地域の住民等に聞き取りを行った。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業 取り組み1 『多様な交流の促進事業』（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 令和6年5月4日（土）14時、18時30分 等
- 2 開催場所： 左京東部いきいき市民活動センター 集会室
- 3 参加人数： 463名
- 4 協力団体等： C.T.T.京都事務局、T-position Ballet など参加団体
- 5 予算： 1,964,900円 / 決算：2,263,000円

1 事業内容

○左京東部いきいき市民活動センターを、利用団体、地域団体などとの交流の場として機能させる目的で文化交流事業を開催した。「新緑の文化祭」「秋の文化祭前期」「秋の文化祭後期」「春の文化祭」と題して年4回、センター利用者等による多ジャンルの音楽、ダンス、演劇、マジックなど多彩な催しを実施した。小学生からシニア世代、そして多国籍の市民まで幅広い世代が参加し、レベルの高い演奏などを実施した。出演者どうし、観客を交えて楽しい交流の機会を創出した。

○今年も各団体と連携して情報を発信した結果、幅広い宣伝効果があった。

2 準備段階での工夫

○例年通りセンター利用団体さん等とコミュニケーションをとり、対象者や内容のバランスも見極めた上でプログラムを実施した。

○集会室で最大限の演出効果が図られるよう工夫した。照明や音響効果のレベルがさらに向上した。

○昨年からの課題であった障害者用のスロープを設置し、車椅子の方も問題なく来場できるようにでき、数名車椅子での来場があった。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

○利用者どうし、センターに足を運んだことのない方、地域住民など多様な人たちがさらに交流を図ることができたと同時に、センターの認知を高めることを目標とした。

（2）事業実施による目標の達成度

○集客率は今年も80%を超え、多くの来場者にお越しいただくことができ、概ね目標を達成した。

○いただいたアンケートによると、「とても良かった」「良かった」と回答した人が95%を超え、記述式の回答でも多くの方から「春の陽気にぴったりなフェスティバルでとても明るい気持ちになりました。」「It was great!」のような肯定的な回答をいただくことができた。

4 今後の抱負

○運営スキルが高まって来たので、なんとかこれを発展・継続していきたい。



秋の文化祭・前期 演劇公演



秋の文化祭・後期 ダンス公演



秋の文化祭・後期 合気道演舞

**【事業名】芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業 取り組み 2『市民への聞き取り事業』
(市民活動支援・活性化事業)**

事業の概要

- 1 開催日時：ワークショップ R6 年 6 月 6 日（木）11 時～12 時 / 聞き取り 6 年 7 月～7 年 2 月（計 6 回） 等
- 2 開催場所： 左京東部および左京西部いきいき市民活動センター 会議室 等
- 3 参加人数： 聞き取りボランティア 15 名（大学生） 展示来場者多数
- 4 協力団体等： 大谷大学社会学部 等
- 5 予算：879,700 円 / 決算：879,700 円

1 事業内容

○「多文化共生」をテーマに左京区界限にお住まいの外国籍市民や海外にルーツを持つ方に聞き取りを行い、それを冊子にまとめ発表した。聞き取りにあたっては、大谷大学社会学部と一部共同で実施した。聞き取りに参加する学生には、聞き取りのための研修としてコミュニケーションワークショップを実施、また聞き取り関する研修も聞き取りグループごと個別に実施した。

2 準備段階での工夫

○聞き取りにあたっては毎年入れ替わる大谷大学の学生さんや先生方に非言語コミュニケーションのワークショップを開き、聞き取りにあたっての「聞く姿勢や態度」について研修するとともに、社会学部の学生にとっても興味深いと思われるテーマを選択した。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

○左京東部いきいきセンターは外国籍市民の利用も多く、国籍も多様であるが、なかなかそうした人たちと時間をとってお話を聞く機会が持てず、この機会にゆっくりお話を聞き交流のきっかけや、多文化共生のまちづくりへのヒントを得ることを目標とした。また、聞き取りに参加する大学生への学びにつなげることも目標の一つとした。

（2）事業実施による目標の達成度

○日頃なかなか直接話を聞くことのない外国籍の方とお話することができ、こちらにも発見や学びがあった点で非常にいい機会となり、十分な達成感があった。

○インタビューを大学生と共有できたことも彼らにとって有意義な学びの機会となった。昨年度聞き取りを行った学生の中から、卒業論文でさらに深めた聞き取りをしたいという学生が現れ、それにも協力することができた。

○またインタビューを通じて交流が深まり、他の事業にも関係してもらえるなど、広がりができた。

4 今後の抱負

○ こうしたテーマを設けた聞き取りの事業は、近隣にお住まいのいろいろな方とお話する（コミュニケーションをとる）貴重な機会となっている。聞いた内容に加えそうした効果があり、様々なテーマを設定しながらできるだけ継続していきたい。大学生にとって非常に学びがあると先生方から評価を受けている。大学生との連携も継続していきたい。計画が大幅に遅れ展示が年度を跨いでしまったことは反省し、計画通りの実施を行いたい。

事業風景の写真



【事業名】芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業 取り組み3 『文化ボランティア育成事業』（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 6年8月24日（土）10時～13時 等
- 2 開催場所： 左京東部いきいき市民活動センター サロン 等
- 3 参加人数： 5名
- 4 協力団体等： すわるばキッズ、スタジオぐるり、At-kyoto
- 5 予算：220,400円 / 決算：220,400円

1 事業内容

○ 事業の運営を支え、協力してくれる「文化ボランティア」を募集し、当センターが主催する文化関連の事業において受付等の手伝いなどボランティア活動を行っていただいた。SNSやホームページを活用した募集の告知を行い、説明も随時開催した。

2 準備段階での工夫

○ サロン活性化事業で協力いただいている3団体に協力いただき、ボランティア集めをおこなった。交流事業への出演団体に協力いただいてボランティアを集めた。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

○ 10名を目標にボランティアを募り、昨年同様に、主にサロン活性化事業で子供たちが多く集まる際にボランティアをお願いした。

（2）事業実施による目標の達成度

○ 人数が目標に達しなかったのは残念であった。学生の参加が今年もあったことはよかった。交流事業の受付補佐なども担っていただけたのは昨年より機会が増えてよかった。複数で子供の見守りができ、子供たちのフォローもできた。ボランティアの皆さんにもやりがいがあり、満足していただけた。

4 今後の抱負

○ ボランティアをケアする体制をしっかりとさせないと積極的な募集や受け入れが難しいので、受け入れがわの体制づくりを充実させたい。

事業風景の写真

<活動風景>



令和6年12月1日開催の『影絵とアートと交換会』でアートワークショップの補佐をおこなうボランティア。

【事業名】居場所作りを通じた、市民活動支援事業 取り組み1『サロンに集おう』（「影絵人形を作ろう」、「影絵とアートと交換会」）（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 令和6年 8月24日（土）10時～13時 等
- 2 開催場所： 左京東部いきいき市民活動センター サロン
- 3 参加人数： 119名（団体）
- 4 協力団体等： At-Kyoto（交換会運営） 等
- 5 予算：1,058,000円 / 決算：1,058,000円

1 事業内容

○錦林東山学区の社会福祉協議会、錦林保育園と連携して、サロンにより多様な方々が集える事業を実施した。高齢者が集って手作業をおこなう『影絵人形を作ろう』および『子育て中の親子の交流事業』として、おもちゃ、絵本、衣服など子供用品の無料交換会を実施するとともに、『影絵人形を作ろう』で制作した影絵の上演、および廃材を使った親子向けアート講座を実施した。昨年に引き続き今年度も3回開催した。

2 準備段階での工夫

○事業には「文化ボランティア育成事業」で登録してくれた、ボランティアが関わってくれ、地域団体と協力して実施した。

○好評を受けて今年も昨年と同じ回数で実施した。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

○高齢者向け講座10名・子育て中親子の交流事業延べ100名の来場者を見込んだ。

（2）事業実施による目標の達成度

○高齢者向けの講座「影絵人形を作ろう」は参加人数の目標には至らなかったものの、参加してくれた方々の評判はよかった。親子向けの事業「影絵とアートと交換会」は毎回好評で、多くの親子に参加いただくことが出来た。お年寄りから子供、外国籍の方まで幅広い方々にお越しいただくことが出来た。来場見込みを上回る方にお越しいただくことができた。

○アンケートは非常に好評で、提出いただいた方のほぼ全員が満足もしくは大変満足の結果だった。

4 今後の抱負

○昨年と同様に、もっと宣伝をすればさらに来場者が見込めるが、人数が入りきらない可能性があり、回数を増やすなど対策が必要となっている。予算の捻出などの対策が必要。

事業風景の写真
＜影絵上演風景＞



＜廃材アート制作中風景＞



【事業名】市民の社会関与を促進する事業 取り組み1『市民活動団体活動勉強会』（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 令和6年10月22日～12月25日／ヒアリングおよび取材
- 2 開催場所： 左京東部いきいき市民活動センター 会議室 等
- 3 参加人数： 視聴者数150名（4月18日現在）
- 4 協力団体等： 錦林東山学区社会福祉協議会
- 5 予算： 898,000円 ／ 決算： 898,000円

1 事業内容

○左京東部いきいきの地元、錦林東山学区で活発に活動する錦林東山学区社会福祉協議会の会長さんにヒアリング調査を行い、地域の課題の実情を把握する。また、ヒアリングした内容や活動を映像で記録し編集の上インターネットで紹介するとともに、紙媒体でのレポートも作成し、センター等で配布した。

2 準備段階での工夫

- 映像の時間を短くし、見やすく編集した。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果，目標等

- 視聴者数200名を目標とした。

（2）事業実施による目標の達成度

- 映像は公開してわずか目標に迫っており、近いうちに目標数は達成する見込み。
- 取材させていただいた学区社協さんからは好評の声をいただいている。

4 今後の抱負

○ 昨年と同様になるが、vol4、vol.5と数を重ねることで広がりをも、視聴回数などもアップすることを目指したい。

3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和 6 年度実績：6,289,660 円（前年度比 89.5%）

内訳	会議室等：6,159,000 円
	附属設備：130,660 円 ※自主事業分を除く

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】令和 6 年 11 月実施

【調査項目】窓口サービス

(2) センター独自アンケート

事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

(1) 全センター共通窓口サービス

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
66.4%	29.9%	0.8%	0.3%	2.6%

(2) センター独自アンケート

○回収したアンケートの 9 割以上が大変満足、満足の結果。

3 意見等への主な対応状況

- ・ローリングドライシートをいつもきれいなのにしておいて欲しいです。
- ・床拭きの取り替えシートが小さくて、部屋の隅が届かないです。利用した方には、退出の際、清掃して欲しいです。→大きなものに変えた上で、ヒートの取り替えをまめに行っている。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

- ・ 窓口アンケートで指摘された点の改善にしっかり取り組んだことで、アンケート結果は総じて改善した。利用申請数の改善に取り組んだが昨年並みを維持することができなかった。
- ・ 今後、解決すべき課題等／次年度末に閉館が予定されており、利用者からは活動を継続させるための代替場所情報について問い合わせが増えている。情報の収集と提供を行なっていきたい。
- ・ 次年度に向けた対応／定期的に利用されている方が、閉館見越して活動場所を変えることが増えてくることが予想される。健全な運営を維持するため、非定期的な利用者の獲得など利用急減を防ぐ対策を行なっていきたい。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

- 施設の管理運営（事業の実施を含む）に当たって、何か重要又は異例な事項があれば記載してください。

特になし。

【締め切り】

4月30日（水）までに地域自治推進室へデータ1部＋紙1部を提出

※ 地域自治推進室の確認後、紙の残部（17部又は18部）を提出

※ 収支決算書も4月30日（水）までに提出してください。